

授業科目 患者教育学演習

【担当教員名】 新谷 恵子	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】  
 対象の健康レベルに即した患者理解のために必要な知識を習得する。また、看護問題の解決に必要な実践的な思考プロセス（判断能力、応用能力、問題解決能力）を養い、基本的な援助技術を習得する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

- 健康レベルにおける患者の特性を概念を用いて述べることができる
- 健康レベルにおける患者への援助の方向性を概念を用いて述べるができる
- 与えられた状況設定の中で、ケースの看護上の問題を取り出し、援助計画を立案することができる。
- 健康レベルにおける代表的な援助技術の原理を理解し、原理に基づいた基本的な方法で実施することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1~2	代謝障害を持つ患者の看護（検査一般、コントロール指標、合併症、食事療法、運動療法、薬物療法、フットケア、低血糖対処、自己管理への援助方法）	1.2.3	ロールプレイ学習、成人領域教員
3~4	運動機能障害を持つ患者の看護	1.2.3	ロールプレイ学習、成人領域教員
5~6	代謝障害を持つ患者の看護	4	SMBG体験学習、成人領域教員
7~8	脳神経障害を持つ患者の看護	1.2.3	ロールプレイ学習、成人領域教員
9~11	呼吸障害を持つ患者の看護	1.2.3	ロールプレイ学習、成人領域教員
11~	循環障害を持つ患者の看護	1.2.3	ロールプレイ学習、成人領域教員
13~	生体防御機能障害を持つ患者の看護	1.2.3	ロールプレイ学習、成人領域教員
14~	排泄機能障害を持つ患者の看護	1.2.3	ロールプレイ学習、成人領域教員

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	患者教育、河口てる子、医学書院			
参考書	ナーシング・グラフィカ・健康の回復と看護⑩から⑮			
その他の資料				

【評価方法】 参加状況（20%）、試験（60%）、レポート（20%）により評価する	【履修上の留意点】 授業でできることは限られているので、自ら積極的に文献などを読むことを期待します。
--	---

看護学  
科  
専  
門